

平成17年 年末一時金 要求・妥結状況調査（最終集計）

福岡県労働政策課では、県内に事業所をおき労働組合のある企業293社（従業員数300人以上の大手146社、300人未満の中小147社）を対象として、毎年、年末一時金の要求・妥結状況調査を実施している。

調査対象企業のうち、回答のあった216社について集計を行った結果は次のとおりである。（集計は、平成18年1月31日現在）

1 平均要求額

（1）平均要求額は、619,571円となっている。

（2）要求額が最も高いのは、情報通信業で1,244,803円、次いで教育、学習支援業で902,546円、鉄鋼業で804,075円の順となっている。

逆に、最も低いのは、飲食店、宿泊業で240,136円、次いで木材・家具業で375,183円、パルプ・紙業で453,072円の順となっている。

（3）規模別にみると、大手115社の平均要求額は664,541円となっている。一方、中小101社の平均要求額は570,553円となっている。

2 平均受結額

- (1) 平均受結額は、545,097円、2.14ヵ月分となっている。
前年(平均受結額518,343円)と比べると、26,754円上回っており、増加率5.16%となっている。
- (2) 受結額が最も高いのは、情報通信業で1,161,944円、次いで教育、学習支援業で973,933円、化学・石油業で749,105円の順となっている。
逆に、最も低いのは、飲食店、宿泊業で225,431円、次いで木材・家具業で309,221円、パルプ・紙業で409,724円の順となっている。
- (3) 対前年増加率が最も高いのは、鉄鋼業で24.50%、次いで窯業・土石業で18.70%、一般機械器具業14.89%の順となっている。
逆に、最も低いのは、木材・家具業 11.36%、次いで飲食店、宿泊業で 3.23%、金融・保険業 2.13%の順となっている。
- (4) 規模別にみると、大手115社の平均受結額は595,035円(2.21ヵ月分)で、前年(平均受結額556,001円)を39,034円上回っている。対前年増加率7.02%である。
また、中小101社の平均受結額は488,236円(2.04ヵ月分)で、前年(平均受結額471,994円)を16,242円上回っている。対前年増加率3.44%である。
平均受結額を比較すると、大手が中小を上回っており、その差は106,799円となっている。
- (5) 地区別にみると、受結額は高い方から北九州、筑後、福岡、筑豊の順となっている。
大手では北九州、筑後、福岡、筑豊の順となっているが、中小では筑後、福岡、筑豊、北九州の順となっている。